

学力テストで測れない「非認知能力」育成のヒントが！



河辺小・勝間田小が魅力的な取組を発表！

第1回「非認知Webフォーラム」で両校の実践発表が行われました！

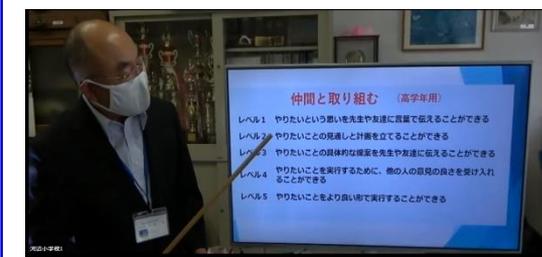
『自信のある河辺っ子』に向け **河辺小**
全職員で『行動指標』を作成！

運動会の取組を通して **勝間田小**
非認知能力の育成にチャレンジ！

1. 「自信」について行動指標作成

「自分らしさ」「自分ならできる」「仲間と取り組む」の3観点の行動指標を作成しました。

2. 行動指標をもとに児童へフィードバック

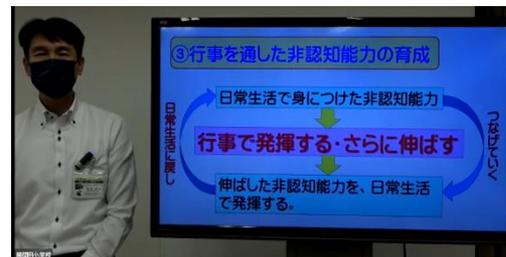


行動指標をもとに、児童の行動を見取ってフィードバックすることで、価値の共有を行い行動の強化を図りました。

1. 「非認知能力」について児童と共有

「非認知能力って？」「どうすれば伸ばせるの？」「何のために伸ばすの？」を丁寧に児童と共有しました。

2. 「自己決定」と「振り返り」で児童へ意識付け



運動会を通して伸ばしたい「非認知能力」を児童に設定させ、複数回振り返りをさせることで、意識させました。



中山芳一准教授

取組を通して両校に共通することは、先生方の視点が、子どもたちを「どう管理するか」ではなく「どう伸ばしていくか」という視点に変わっていったことではないかと思っています。極めて限定的な「管理的なレンズ」から、極めて「多様で、柔軟で、多義的なレンズ」が先生方に出来たのではないのでしょうか。しかも、そのレンズは「河辺小バージョン」「勝間田小バージョン」といった、先生方が自分事としてつくっていったことに大変意味があります。両校の発表を聞き、あらためて素晴らしい取組をされてきたと実感しました。

参加者

理論をもとに、学校をあげて子供に寄り添いながら実践されている先生方の思いがひしひしと伝わってくる内容で、とても興味深かったです。「非認知能力レンズ」を通した豊かな見取りとフィードバックの重要性を理解することができました。

- ・当日の映像を録画しております。視聴を希望される学校は津山教育事務所までご連絡ください！
- ・第2回「非認知フォーラム」を7/29(木)に開催します。詳しくは、津山教育事務所からの案内をご覧ください！